
「世界一の顧客価値の実現」

2008年3月期 決算説明会

黒崎播磨株式会社

2008年6月6日

目次

08年3月期決算の概要

09年3月期の見通し

第8次中期経営計画の進捗状況

当社のCO₂削減への取り組み

当社の海外戦略

(ご参考)当社の概要

2008年3月期決算

■粗鋼生産量の伸びを受け売上高堅調も、
原料・商品購入価格の高騰により減益

(単位:億円)

	07/3	08/3	前年同期比増減	
売上高	915.4	953.8	38.3	4.2%
営業利益	58.8	49.9	△8.9	△15.1%
経常利益	60.7	48.0	△12.7	△21.0%
当期純利益	※38.9	32.3	△6.6	△16.9

※うち5.6億円は(株)マイクロン売却によるもの

2008年3月期決算の要点

売上高

(前年同期増減
+38.3億円)

- 増収:粗鋼生産量増・拡販、築炉事業スポット案件増
原料高騰分(06年度分)の製品価格改定
- ▲減収:建設用案件減、ファインセラミックス事業減収

営業利益

(前年同期増減
-8.9億円)

- 増益:原料高騰分(06年度分)の製品価格改定
耐火物関連事業の受注増、コストダウン効果
- ▲減益:原料・商品調達価格の高騰
減価償却制度の変更、建設用案件減

当期純利益

(前年同期増減
-6.6億円)

- 増益:法人税の還付等
- ▲減益:前年度は子会社株式の売却益あり

当社をとりまく市場環境

■鉄鋼業界は依然好調も、半導体製造装置業界は需要端境期

指標	実績	前年同期比
粗鋼生産量	1億2,152万トン (2007年度)	3.2%増
国内四輪車生産台数	1,179万台 (2007年度)	2.5%増
半導体製造装置受注高	1兆5,917億円 (2007年度)	23.8%減
電子デバイス生産高	6兆9,721億円 (2007年)	2.5%増

参考) 鉄鋼需要の動き(4月)

(社)日本半導体製造装置協会資料

経済産業省生産動態統計

※無断転載禁止

セグメント別売上高

■耐火物関連事業(耐火物、築炉)は好調

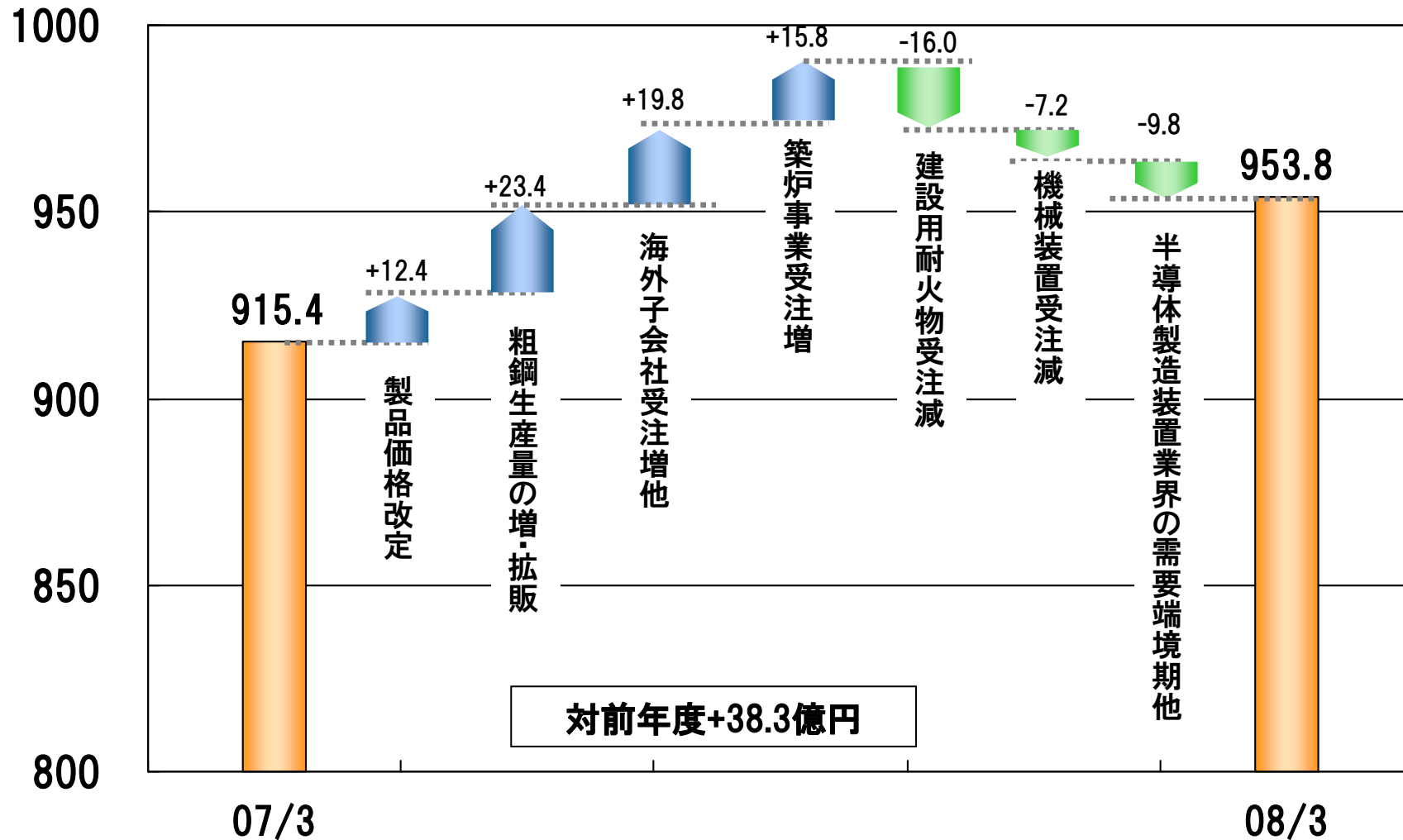
■ファインセラミックス事業は半導体製造装置業界の需要端境期

(単位:億円)

	07/3		08/3		前年同期比増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
耐火物	657.4	71.8%	694.9	72.9%	37.5	5.7%
築炉	158.5	17.3%	171.5	18.0%	13.0	8.2%
ファインセラミックス	59.3	6.5%	46.5	4.9%	△12.8	△21.6%
不動産	10.2	1.1%	10.2	1.1%	0.0	△0.3%
その他	30.1	3.3%	30.7	3.2%	0.6	2.1%
合計	915.4	100.0%	953.8	100.0%	38.3	4.2%

売上高増減要因(08年3月期)

(単位:億円)



セグメント別営業利益

■耐火物事業は原料・商品購入価格高騰の影響を受け減益

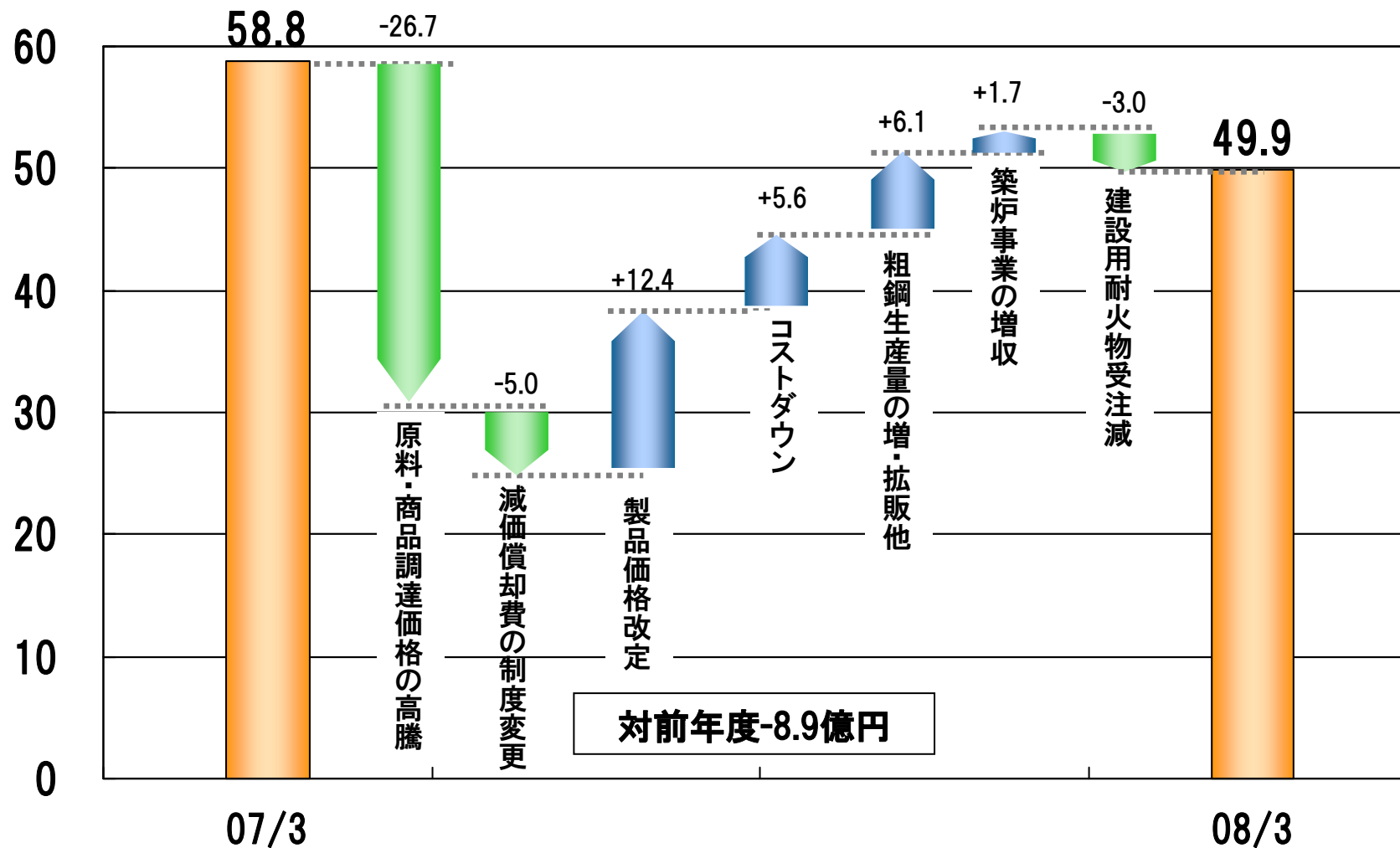
■築炉事業はスポット案件増に伴い増益

(単位:億円)

	07/3		08/3		前年同期比増減	
		構成比		構成比		
耐火物	43.3	62.1%	31.6	53.0%	△11.7	△27.0%
築炉	17.7	25.4%	20.7	34.8%	3.0	17.1%
ファインセラミックス	4.7	6.7%	3.4	5.7%	△1.3	△27.9%
不動産	3.0	4.3%	2.9	4.9%	△0.1	△3.3%
その他	0.9	1.3%	0.9	1.6%	0.0	0.0%
合計	69.7	100.0%	59.6	100.0%	△10.1	△14.4%
消去又は全社	(10.9)	—	(9.7)	—	—	—
連結	58.8	—	49.9	—	△8.9	△15.1%

営業利益増減要因(08年3月期)

(単位:億円)



BSの状況

- **総資産減少**: 売掛金の減少、投資有価証券評価減、設備投資
- **純資産増**: 九州耐火煉瓦(株)の完全子会社化、利益剰余金増、自己株式取得
- **有利子負債増**: 設備投資、自己株式取得

(単位: 億円)

	07/3	08/3	07/3末比増減	
総資産	823.4	790.2	△33.2	△4.0%
有形固定資産	291.6	303.0	11.4	3.9%
有利子負債	107.4	124.3	16.9	15.8%
純資産	328.7	332.4	3.7	1.1%
自己資本比率	36.1%	40.7%	—	4.6%

キャッシュフロー

- 営業活動CF: 当期純利益による増、売掛金の回収による増
- 投資活動CF: 活発な設備投資によりキャッシュアウトが増加

(単位: 億円)

	07/3	08/3
現金及び現金同等物の期首残高	36.4	35.4
営業活動によるキャッシュフロー	32.8	45.9
投資活動によるキャッシュフロー	*△20.7	△48.7
フリーキャッシュフロー	* 12.2	△2.8
財務活動によるキャッシュフロー	△13.7	△5.1
キャッシュフロー合計	*△1.0	△7.9
現金及び現金同等物の期末残高	* 35.4	27.7

*: (株)マイクロン売却の影響含む

目次

08年3月期決算の概要

09年3月期の見通し

第8次中期経営計画の進捗状況

当社のCO₂削減への取り組み

当社の海外戦略

(ご参考)当社の概要

2009年3月通期見通し(要点)

■売上高は堅調に推移

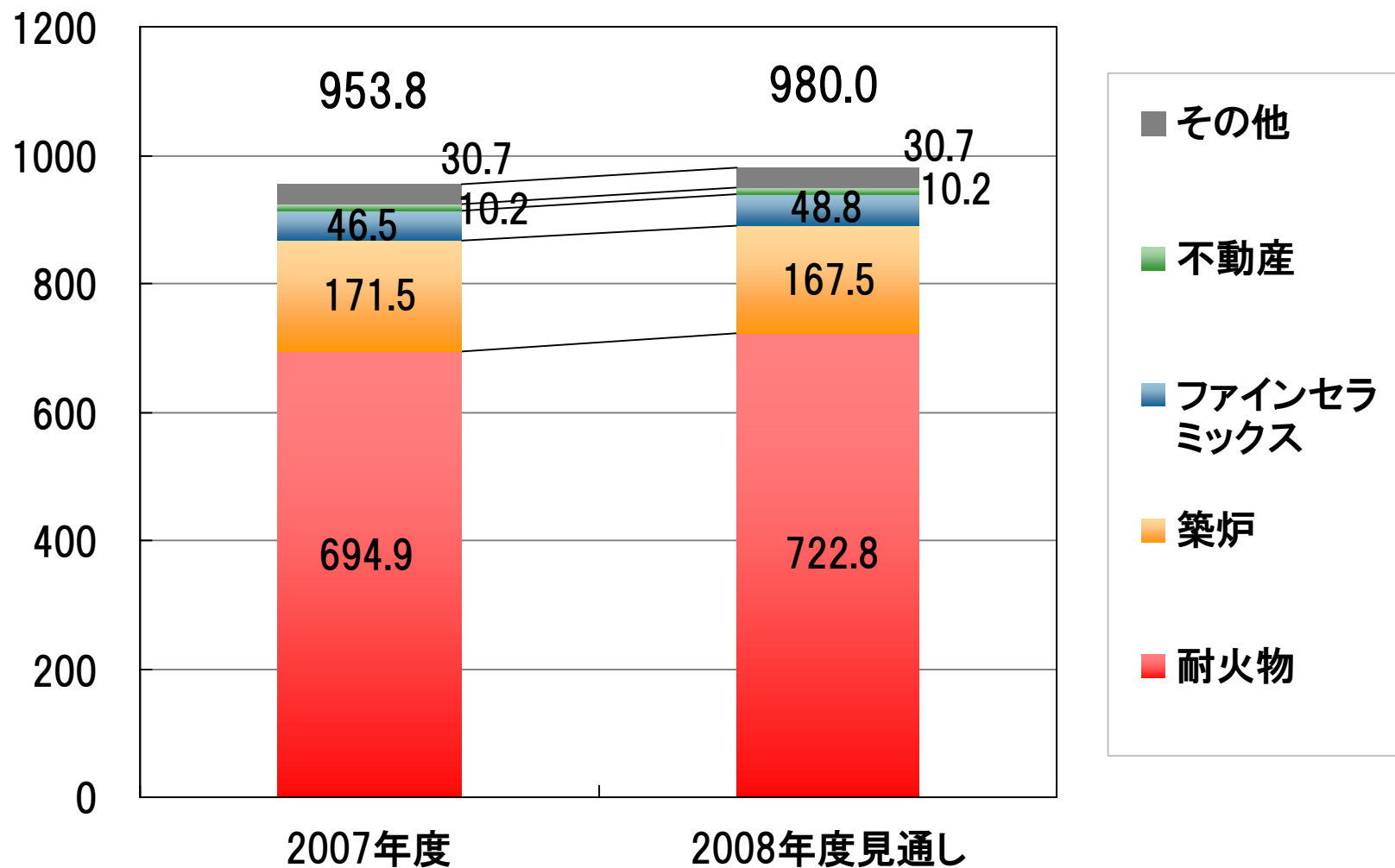
■原燃料費の面では不透明な状況下も、昨年並の利益を見込む

(単位:億円)

	08/3 実績		09/3 計画		前年同期比増減	
	売上高比		売上高比			
売上高	953.8	100.0%	980.0	100.0%	26.2	2.8%
営業利益	49.9	5.2%	50.0	5.1%	0.1	0.1%
経常利益	48.0	5.0%	48.0	4.9%	0.0	0.1%
当期純利益	32.3	3.4%	28.0	2.9%	△4.3	△13.4%

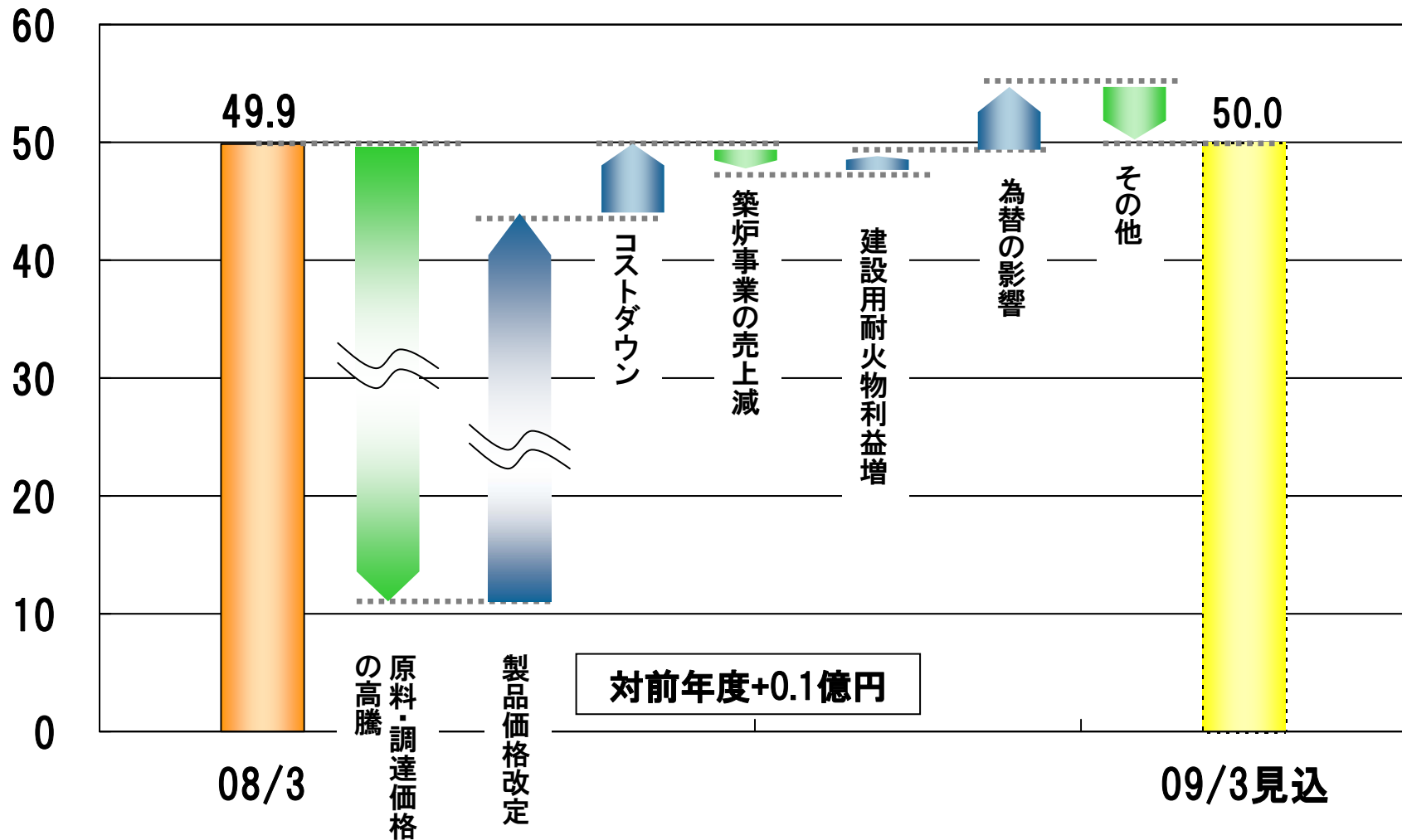
セグメント別売上高見通し

(単位:億円)



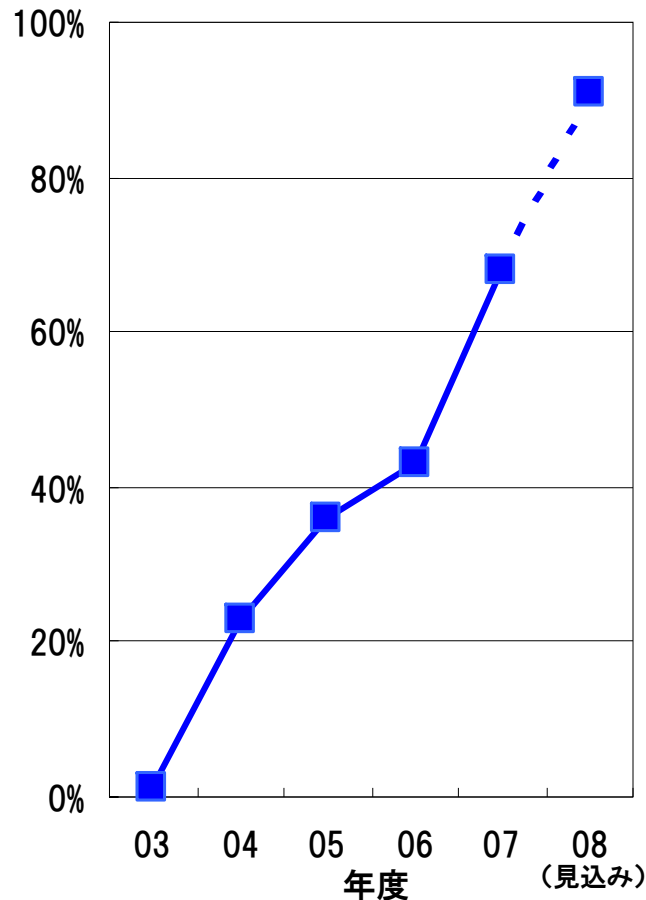
営業利益見通し(09年3月期)

(単位:億円)



原料価格の高騰と対応

■原料の値上がり率(基準:2002年度)



- 1)世界的な生産活動の活発化:需要増
- 2)中国の生産規制強化(環境、省エネルギー)
- 3)中国の資源保護政策(税制改定)
- 4)北京オリンピック前の規制と投機的動き



1. 原料の安定確保 (量、品質、価格の安定)

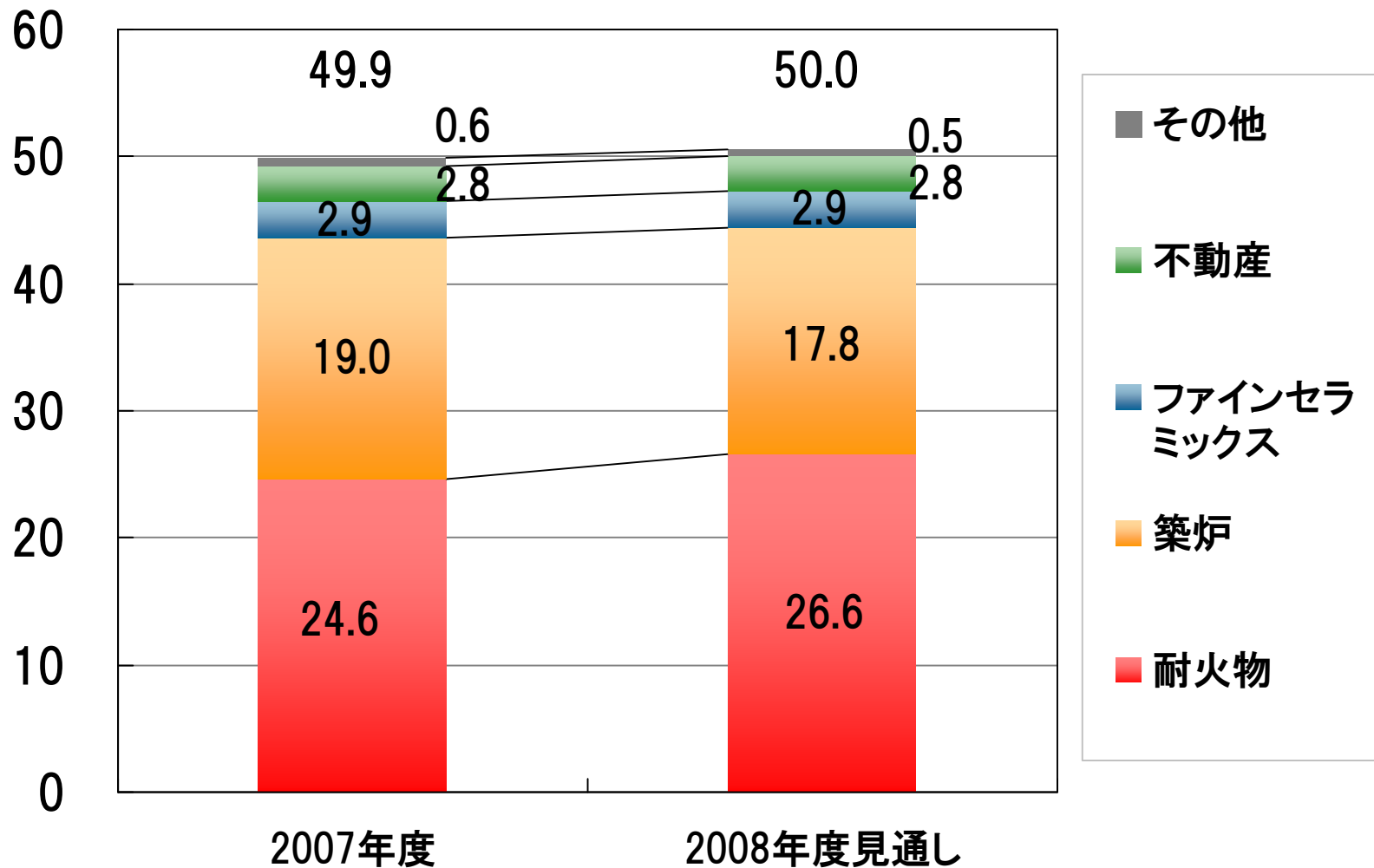
- ・当面の原料の安定調達施策
(戦略的備蓄、金融支援など)
- ・国内外の信頼できるパートナーと関係強化
(長期契約、集中購買)
- ・中国内外での新しい原料調達先開拓
(ブラジルなど)

2. 製品価格の改定

- ・前年度値上がり分を翌期の価格に反映

セグメント別営業利益

(単位:億円)



各期の業績に応じた配当

■08年3月期：昨年と同額の5円を配当

- 各期の業績に応じた配当
- 今後の事業展開、財政状況、経営環境等を勘案して配当を実施

		07年3月期 実績	08年3月期 予定	09年3月期 予定
通	期	5円	5円	5円

目次

08年3月期決算の概要

09年3月期の見通し

第8次中期経営計画の進捗状況

当社のCO₂削減への取り組み

当社の海外戦略

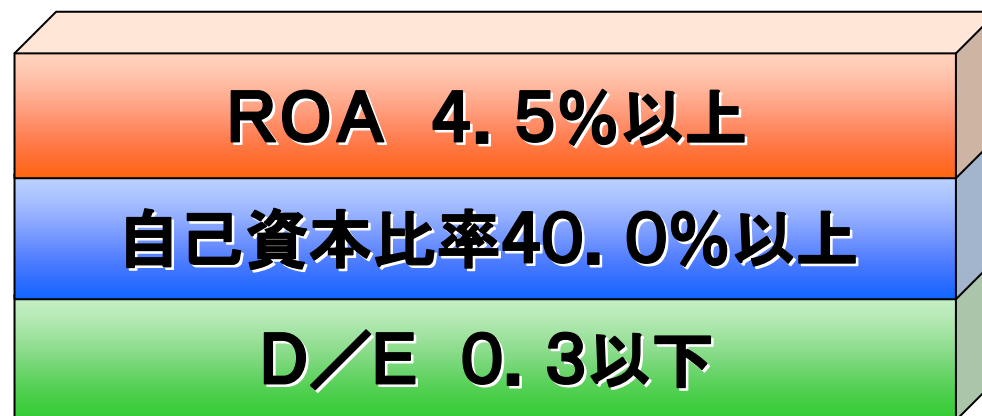
(ご参考)当社の概要

第8次中期経営計画における財務体質の強化 ('06～'08年度)

- 資産の健全化
 - ・ 効率化追求
 - ・ 不要資産の売却等
- 競争力を高める投資
- 競争力を高める研究開発
- 健全なCF

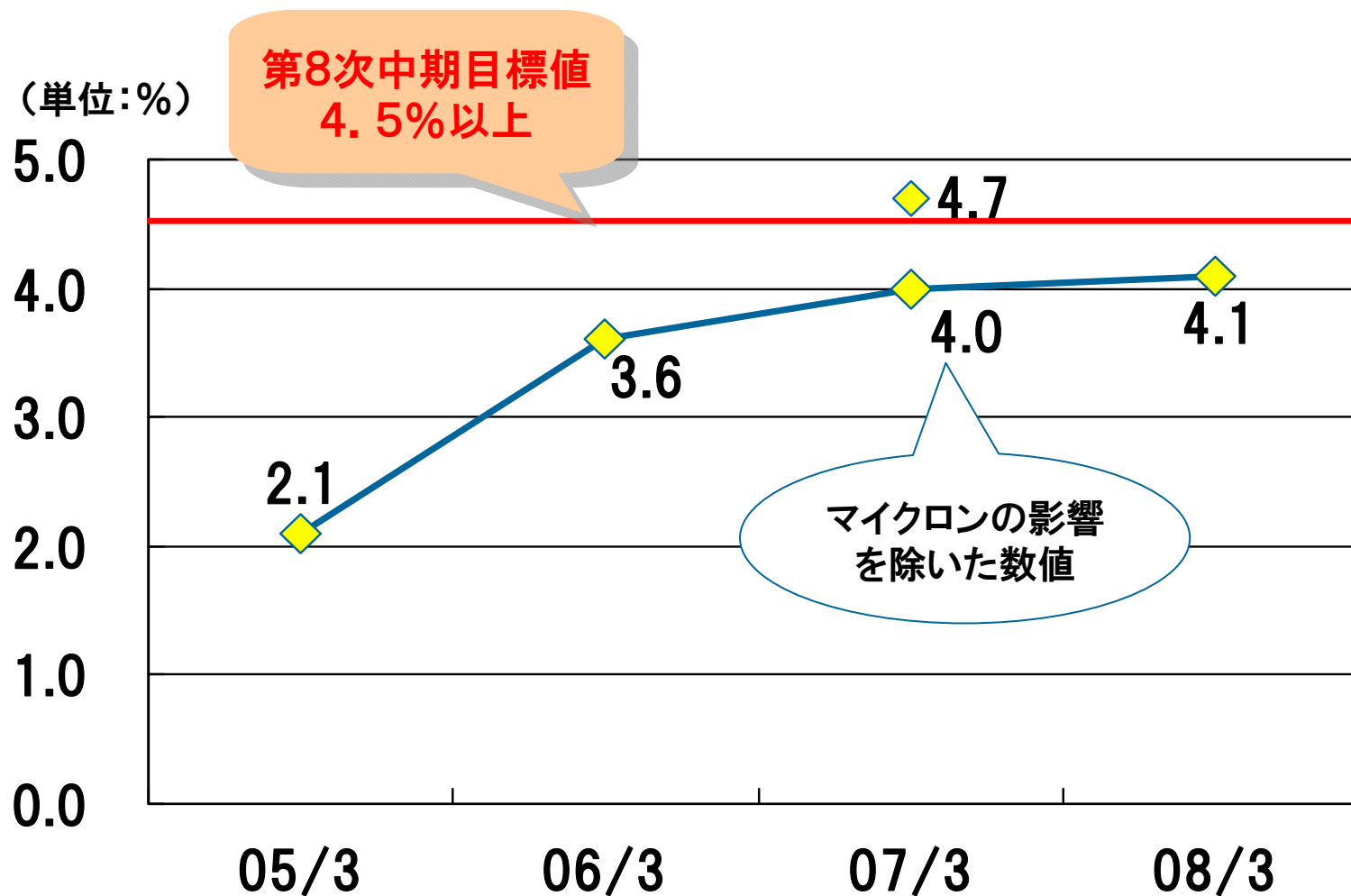


- 1) 筋肉質な「資産」
- 2) 利益体質の強化



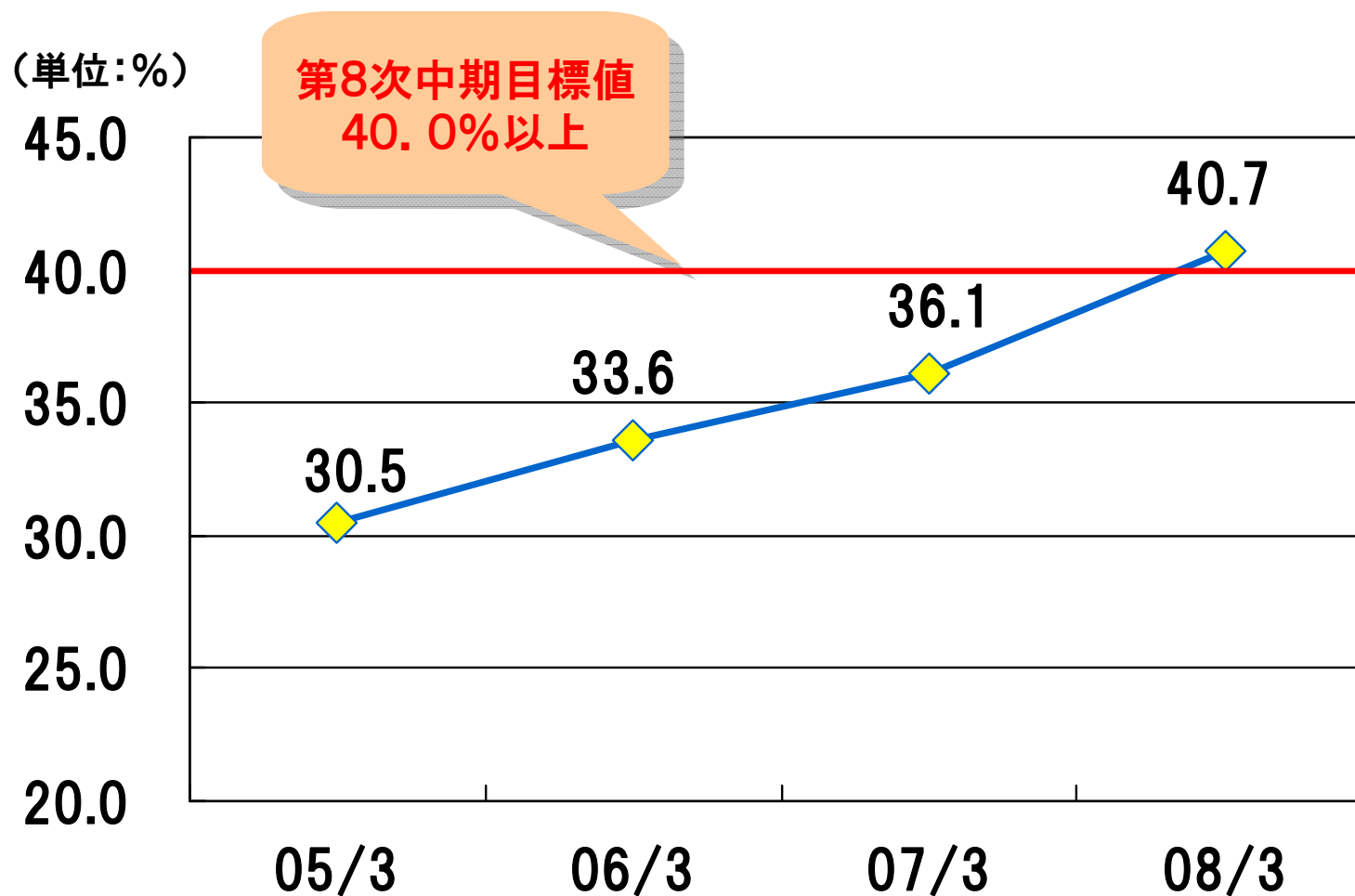
第8次中期経営計画('06~'08年度)の進捗状況

■ROA(連結): 目標に対し順調に推移



第8次中期経営計画('06~'08年度)の進捗状況

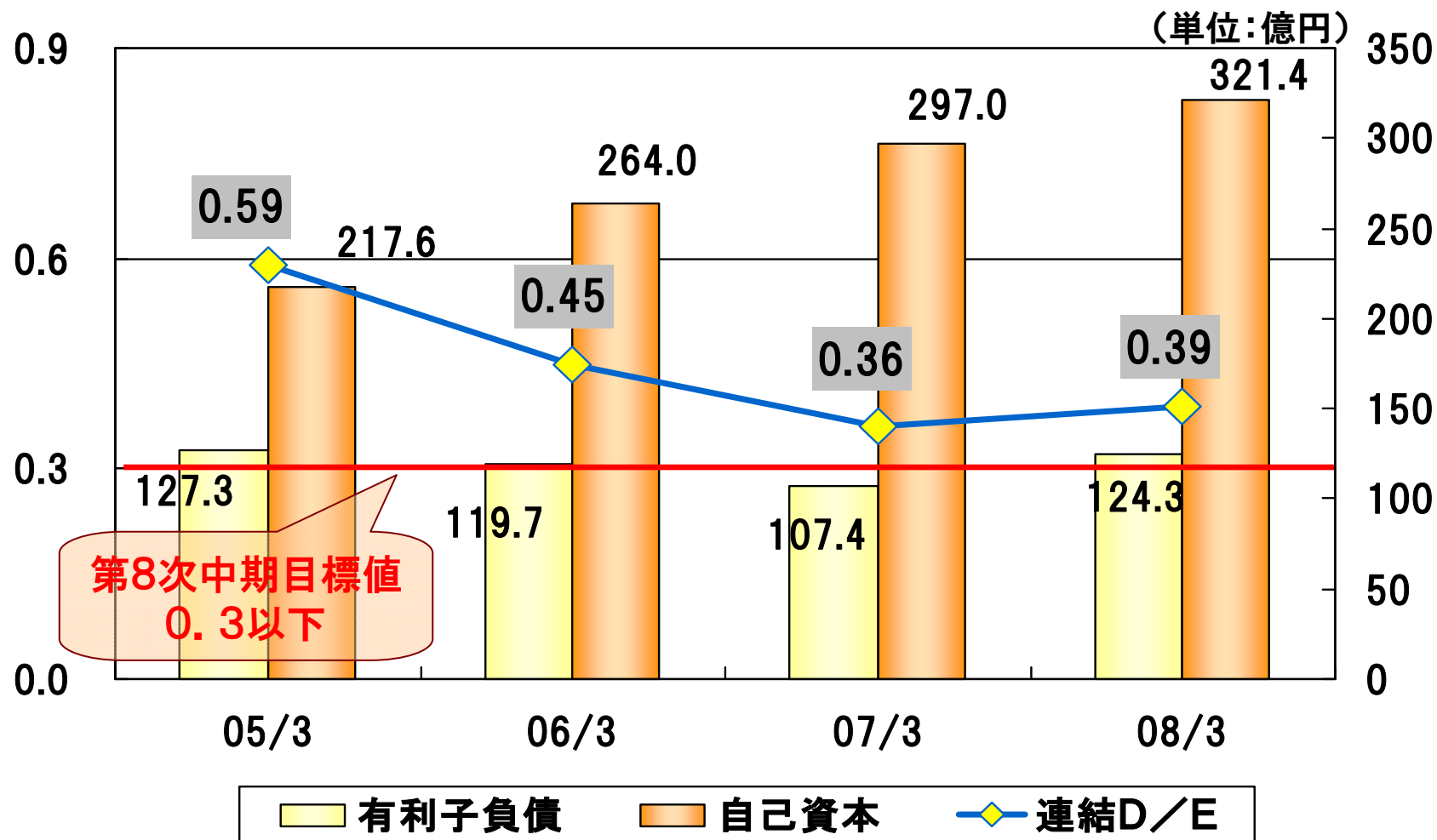
■自己資本比率(連結): 目標に対し順調に推移



第8次中期経営計画('06~'08年度)の進捗状況

■D/Eレシオ(連結):

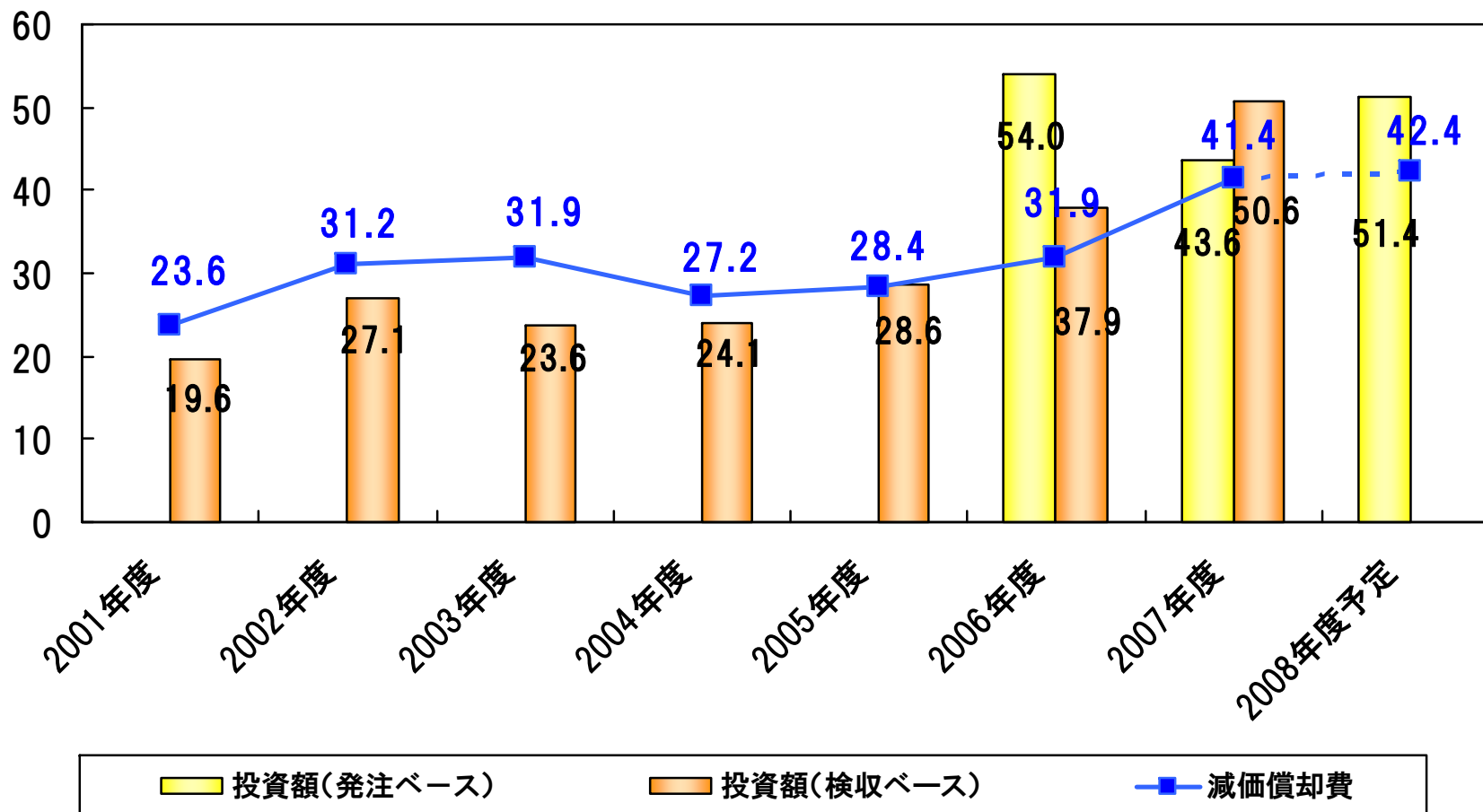
戦略的な設備投資を目的とした借入金の増加



競争力の強化

■次世代新商品の投入、製造プロセスの革新

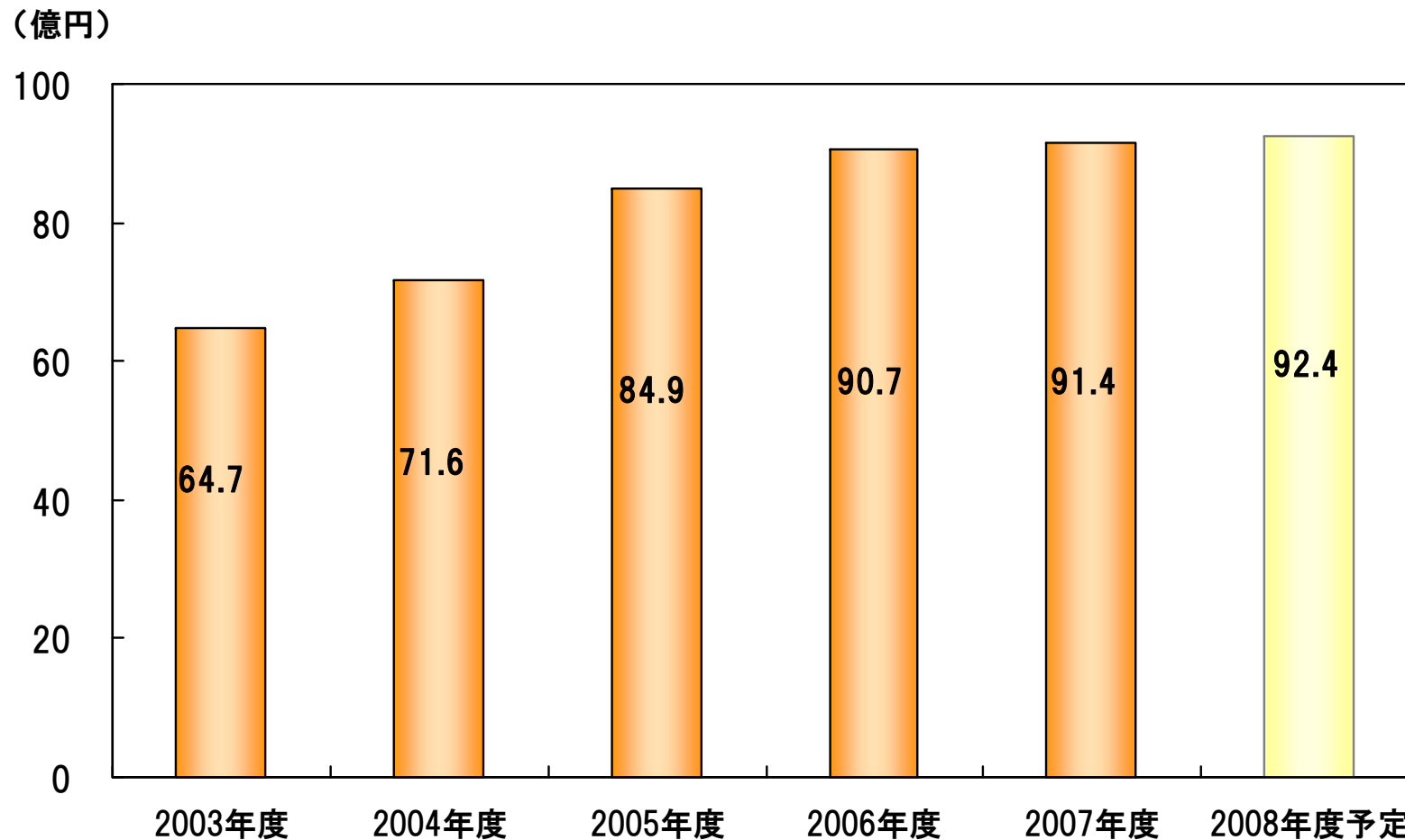
(単位:億円)



※2001～2005年度については(株)マイクロンの実績を除く

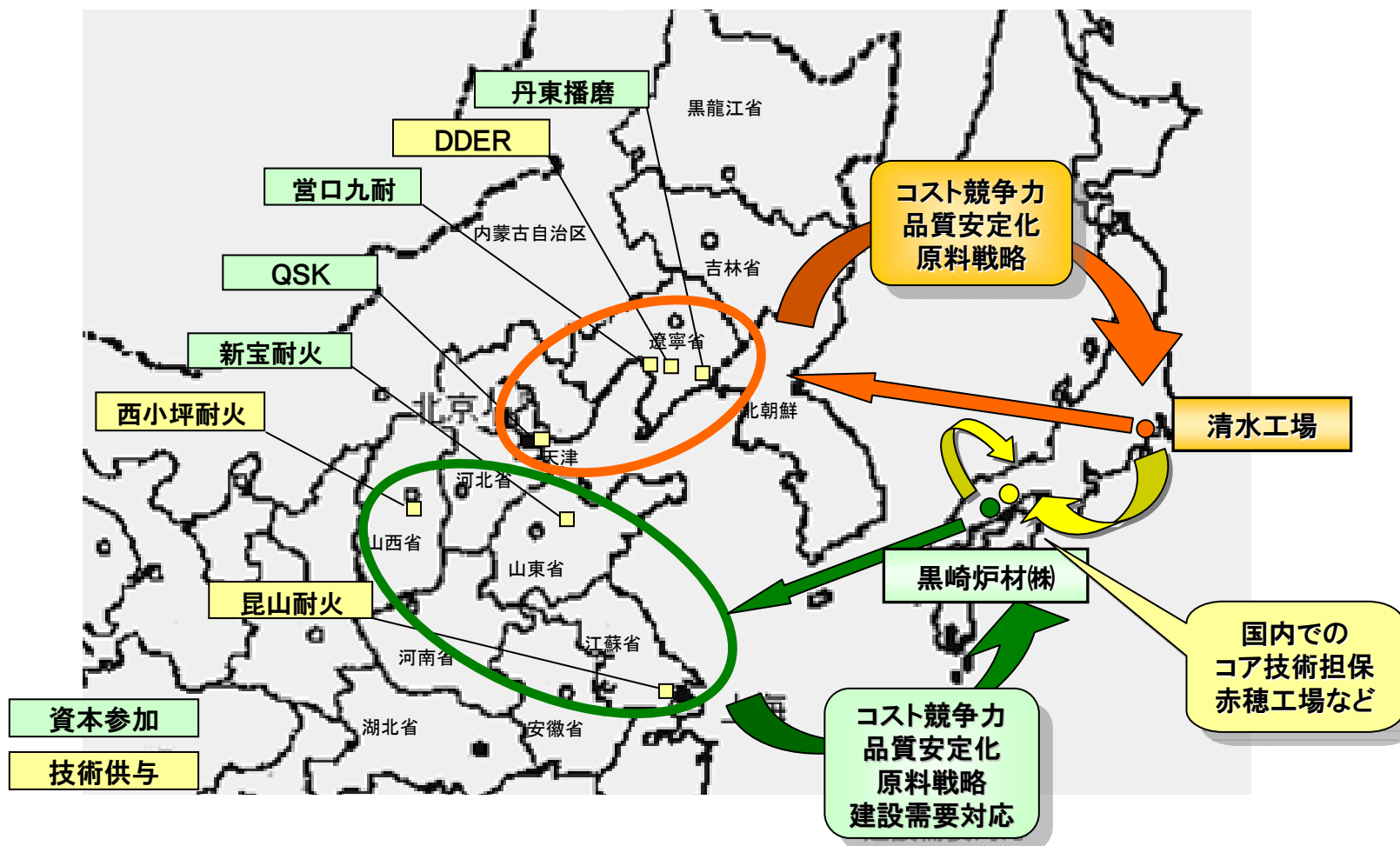
企業価値の向上(EBITDA)

■企業価値の指標であるEBITDAは順調に増加



最強の生産・供給・サービス体制の確立

- 九州耐火煉瓦(株)の完全子会社化、(株)SNリフラテクチュア東海の子会社化
- 清水工場の閉鎖を実施、黒崎炉材(株)の解散を決定
- 国内主力工場および中国工場の設備能力拡充



目次

08年3月期決算の概要

09年3月期の見通し

第8次中期経営計画の進捗状況

当社のCO₂削減への取り組み

当社の海外戦略

(ご参考)当社の概要

低CO₂化への黒崎播磨の貢献

お客様

- あらゆる『熱』を扱う産業
- ・鉄鋼、非鉄業界
 - ・セメント業界、ガラス業界
 - ・産業環境炉

様々な産業でのCO₂削減に貢献

断熱

耐熱

高耐用

耐火物のミッション

黒崎播磨

- ・クリーン生産(CO₂削減、廃棄物削減)
- ・省資源・グリーン調達
- ・再資源化(3R)

耐火物製造におけるCO₂削減

環境面で優位な日本鉄鋼業のCO₂削減に貢献

鉄鋼業における環境優位性

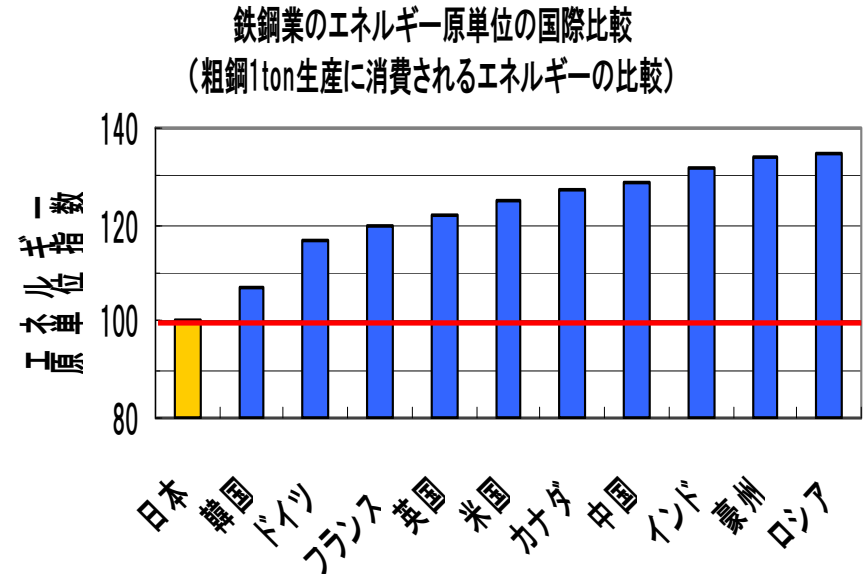
高効率&高付加価値操業
によるCO₂削減

設備の大型化

高速化・連続化

省エネ設備&操業

スループットマックス
高い時間価値



* 出所:「エネルギー効率の国際比較(発電,鉄鋼,セメント部門)」RITE,2008

※無断転載禁止

これらを支える黒崎播磨の耐火物技術

CO₂削減の観点から、 日本の鉄鋼業を支える黒崎播磨の耐火物技術

■高機能、高耐用、高位安定な耐火物の提供

高効率な大型高炉、大型転炉の操業にトラブルフリーな耐火物は不可欠

※大型高炉(5,000m³以上)世界14基のうち11基が日本

■省エネ設備への高信頼性耐火物の提供

CDQ(コークス炉における廃熱回収発電装置)への耐火物の提供

■低熱伝導な耐火材料の提供

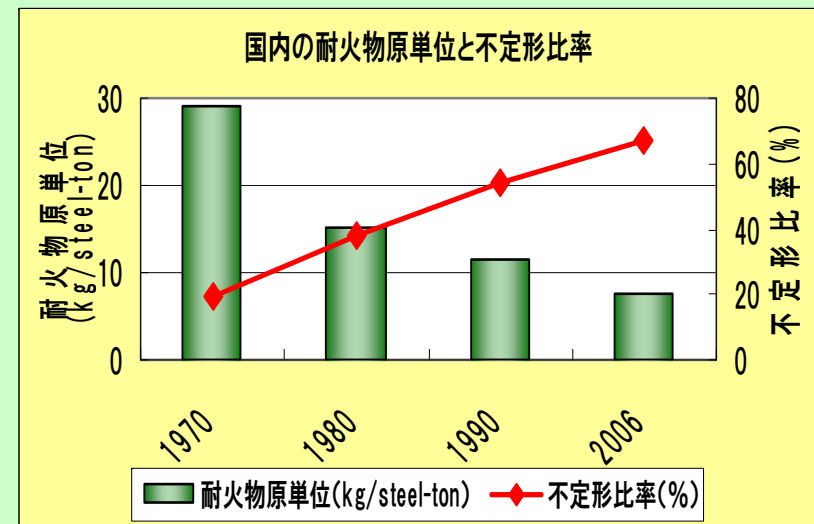
溶銑、溶鋼における熱ロス削減に貢献

■耐火物の不定形化および不焼成化技術

耐火物製造～使用での省工程により

一貫でのCO₂削減に貢献

※溶鉄源の熱を利用して焼結



※無断転載禁止

目次

08年3月期決算の概要

09年3月期の見通し

第8次中期経営計画の進捗状況

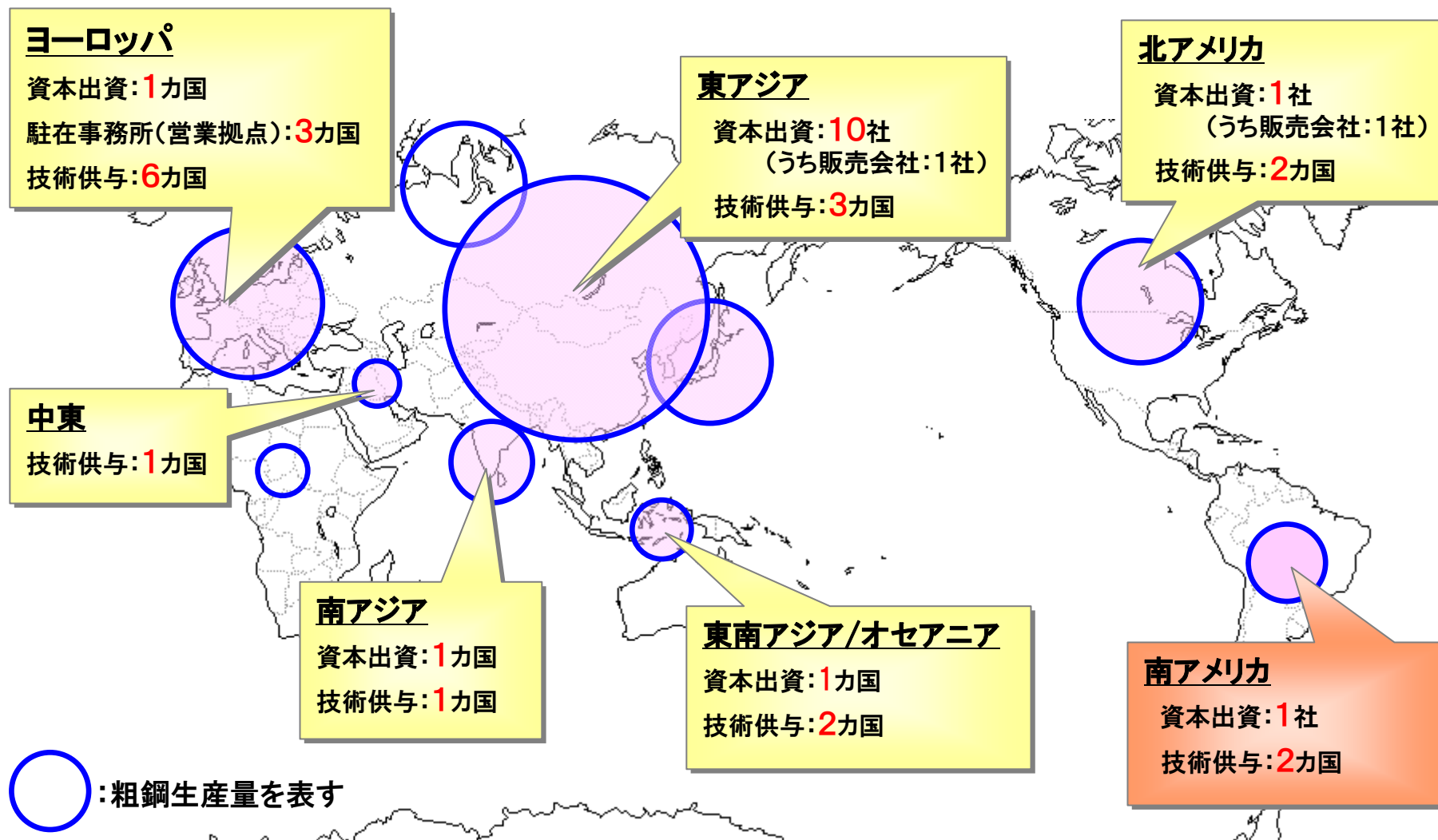
当社のCO₂削減への取り組み

当社の海外戦略

(ご参考)当社の概要

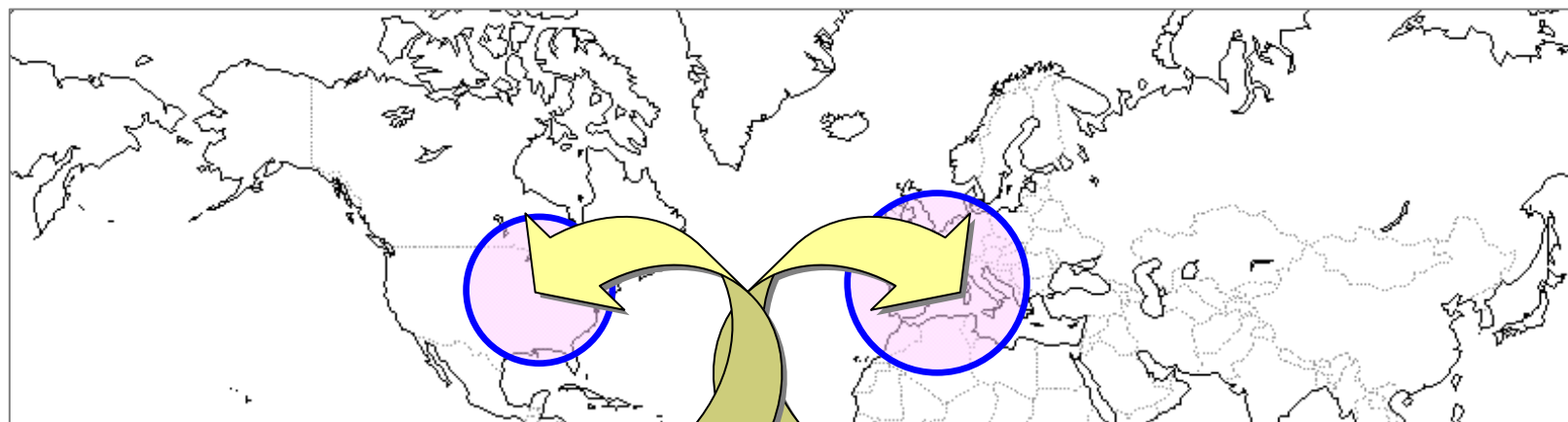
当社の世界展開

■世界の主要な鉄鋼市場に製品、技術を提供

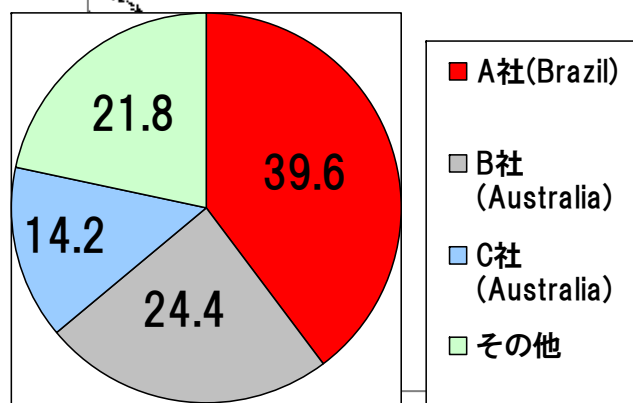


今後のブラジル鉄鋼業の成長性

■鉄鉱石輸出とともに鉄鋼製品でも輸出拡大(主に北米、欧州)

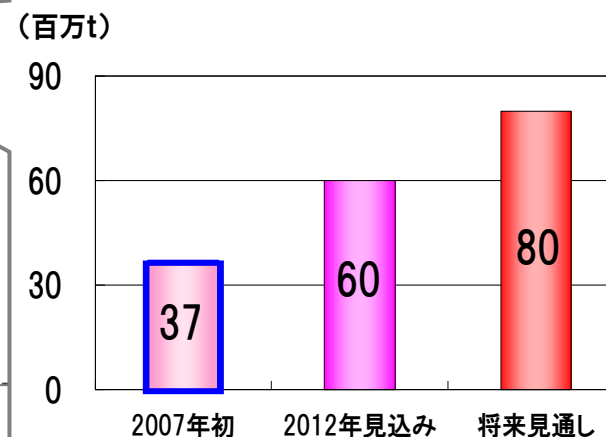


鉄鉱石の海上輸送量シェア(%)



*Raw Materials Group quoted in UNCTAD Trust Fund on Iron Ore Information
"Iron Ore Market 2006-2008"

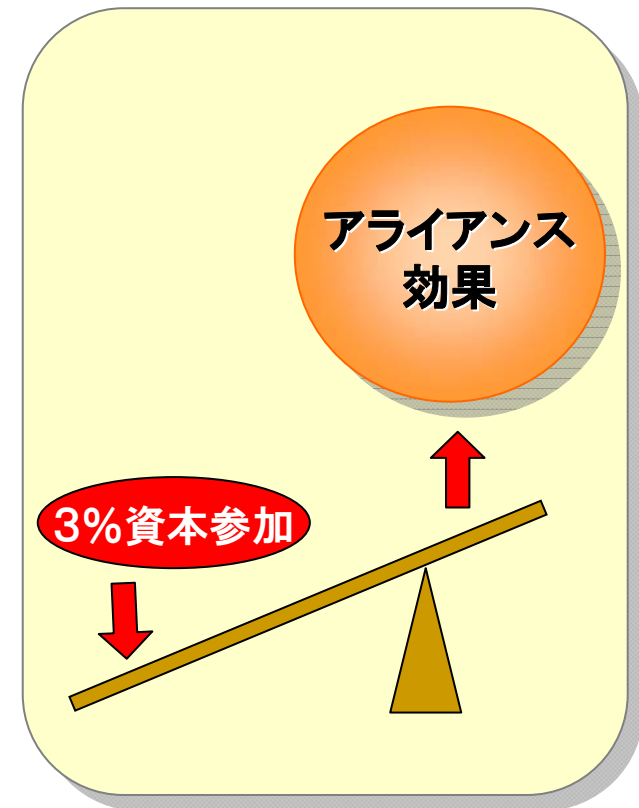
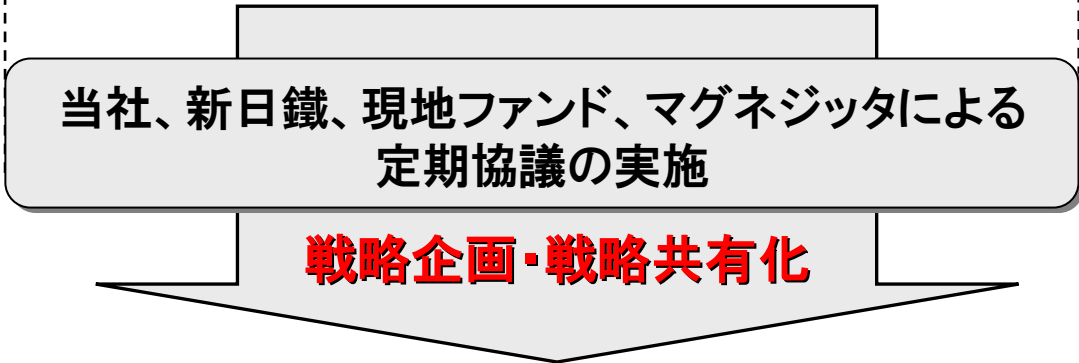
ブラジル 粗鋼生産能力の推移



*ブラジル鉄鋼院(IBS)

マグネジッタ社への資本出資に関する基本合意

協定株主 60%	市中株式 40%
現地ファンド 57% 当社 3%	



◆マグネジッタ社とのアライアンス効果

ブラジル各社の粗鋼増 ・新日鐵が出資する ウジミナス粗鋼増 ・ブラジル粗鋼の倍増	北米、欧州市場 への展開	原料の安全保障対策 ・自社保有鉱山からの 原料調達と開発
--	-------------------------	---

耐火物総合ソリューションビジネスモデル

目次

08年3月期決算の概要

09年3月期の見通し

第8次中期経営計画の進捗状況

当社のCO₂削減への取り組み

当社の海外戦略

(ご参考)当社の概要

会社概要 (2008年3月末現在)

【商号】 黒崎播磨株式会社

【資本金】 5,537百万円

【設立】 1918年10月14日

【主要事業】 耐火物製造・販売

【従業員】 連結2,726名、単体1,065名

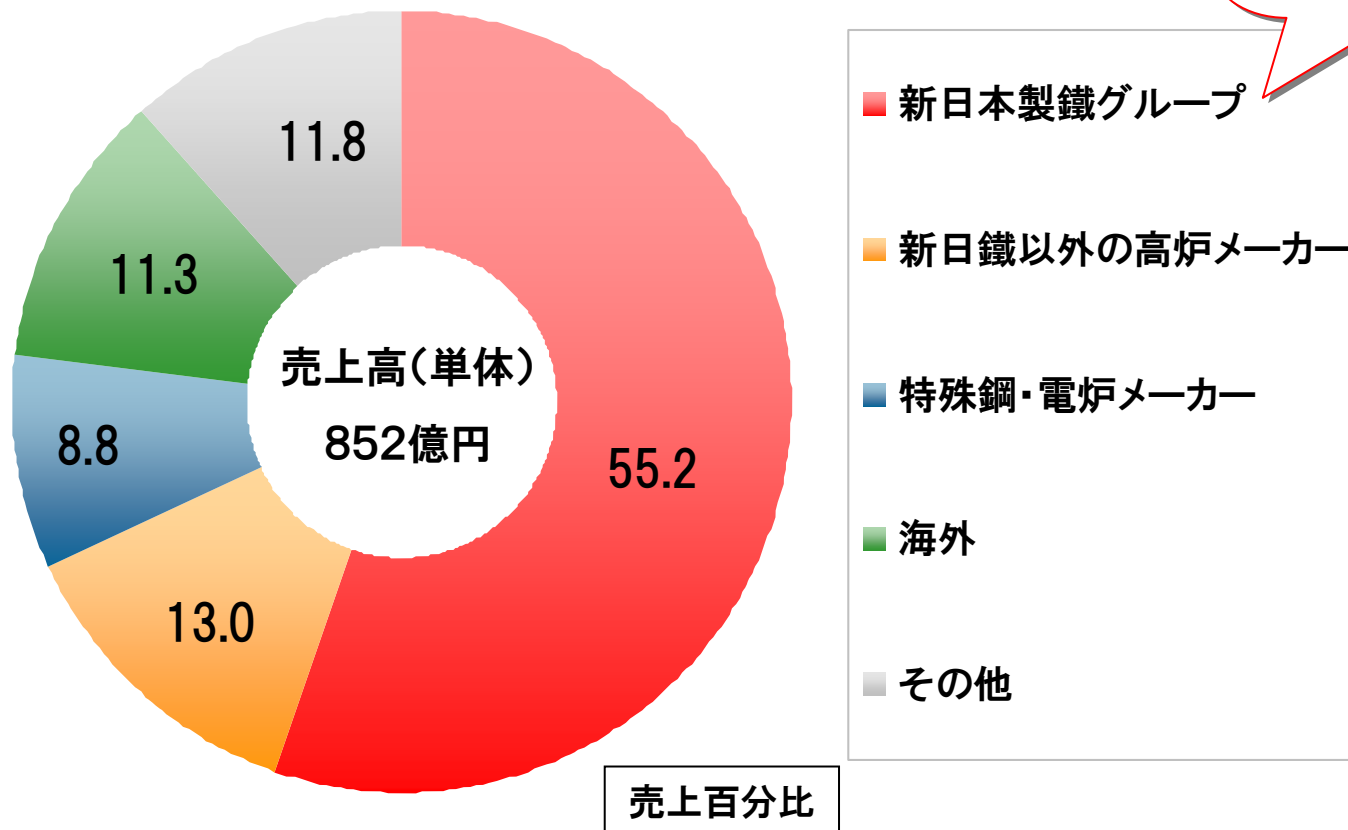
【連結対象会社】 12社（国内7社、海外5社）

（持分法適用会社も含む）

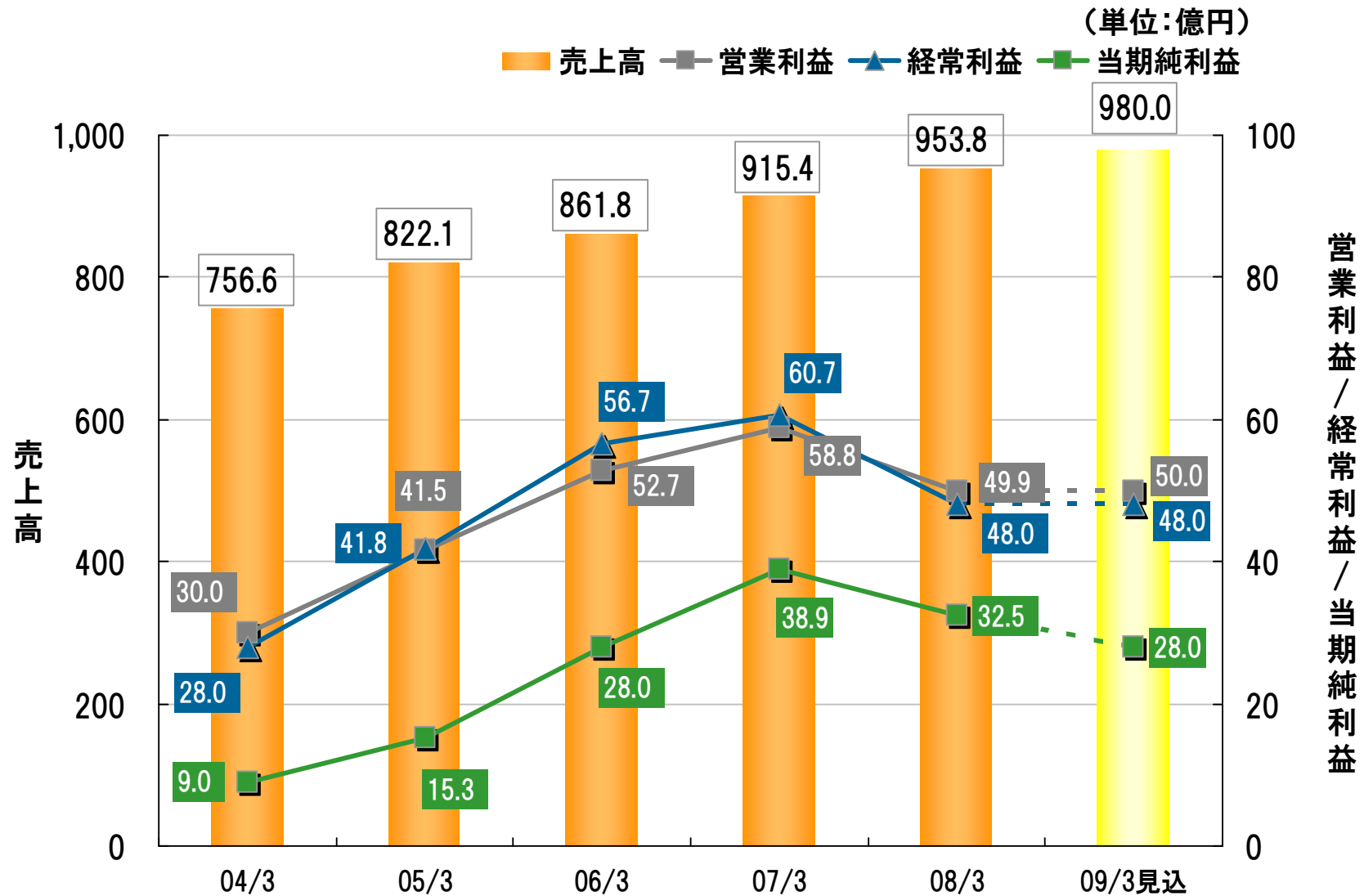
得意先別売上構成比(2008年3月期決算:単体)

■納入先は国内外の高級鋼メーカー

- ・新日本製鐵
- ・新日鉄マテリアルズ
- ・新日鉄エンジニアリング
- ・日鉄プラント建設
- ・新日鉄住金ステンレス
- ・新日鉄化学



業績推移(連結)



決算説明会について

将来にわたる予想の部分につきましては、皆様の投資のご参考資料としてご提供するものです。

したがって、当社の推測・予測に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。

予測と異なる結果となることがあるということをご了承の上ご活用いただきますようお願い申し上げます。